



けすぞう新聞

★第100号となりました★

2026年4月発行
 100TH
 ANNIVERSARY
 播磨町消防団女性分団

消防団員には一定の訓練礼式の練習が

～消防団員礼式訓練、

地下式消火栓の開閉実践～

義務付けされています。

2026年3月15日望海公園球場にて、加古川市東消防署播磨分署の方を講師とした、礼式訓練および消火栓開閉講習会が開催されました。女性分団員を含む消防団員は、二手に分かれ、

①号令・命令および指示の方法、

挙手敬礼、隊列行進の方法、

②消火栓鍵を使用し、丸型と角型消火栓蓋の開閉方法を教わりました。



角型消火栓の場合

消火栓鍵を差し込みます。差し込んだら90度回し、長い側をしっかりと持って、てこの原理により持ち上げます。

※蓋を開放する際は、周囲の安全を確認し、膝を曲げて腰をしっかりと低くして、けがをしないよう注意します。

丸型消火栓の場合

①消火栓鍵を差し込みます。

※てこの原理で蓋を持ち上げます。周囲の安全を確認し、腰を受傷しないよう注意します。

②丸型の蓋を開ける時は、一度手前に引き上げてから、180度回して開放します。

～東京都中野区ホームページより～

◎地下式消火栓

地下に埋め込まれている消火栓です。蓋に「消火栓」と書かれ、あけると消火栓が設置されています。歩行距離5m以内にホース格納庫があり災害時にはホースを繋げて消火活動を行います。

消火活動は「慌てず、急がず、落ち着いて！」

花笑みは何よりの喜び



次は誰のセリフ？

三人寄れば
 文殊の知恵

2026年4月12日二子北公民館にて、防災啓発劇「火は怖い(大怪獣バトル編)」を披露しました。

お世話係の方を含め、参加者はおおよそ50名の満席御礼。

梶ケシ子とウルトラの妻が登場し、アドリブたっぷりスタート。たくさんの拍手を頂きました。



👉 終幕のおしらせ

「M78星雲の女性消防団員」であるウルトラの妻たちが、三つの事例から、防災・防火について解説。

最初から最後までたくさんの笑顔があふれ、あちこちから「へえー、そうなんや」の声が聞こえ、うなずき合う姿も見られました。クイズ形式で改善点を確認する場面では積極的に発表して頂き、客席と一体化した時間になりました。

『咲いた花のような笑顔』のことを「花笑み」と言います。心の中の蕾に栄養を与えてもらい、花咲く一日となりました。

お問合せ 播磨町企画総務部 危機管理課
 電話番号：079-435-0991

播磨町 女性分団

検索

私たちの活動、けすぞう新聞はこちら

